

(第一面)

記入例(単位制):赤字が入力箇所です。
「職業訓練校」は様式が異なります。

受付整理番号

記入しないでください

建築士試験 指定科目の確認申請書(新規申請)

本課程における別表の開講予定の科目について、建築士法第14条第一号から第三号若しくは第五号又は建築士法第15条第一号から第三号に規定する国土交通大臣の指定する建築に関する科目(以下「指定科目」という。)のいずれかに該当するものであることの確認を申請します。この申請書及び添付資料に記載の事項については、事実と相違ありません。

また、確認審査結果に基づき、適正に「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を発行することを誓約します。

押印略でも構いません

公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長 殿

申請年月日

申請者役職名

申請者名

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇学校 学長

建築 太郎

公印は省略して構いません。

申請する建築士試験

一級建築士試験	○
二級・木造建築士試験	○

「一級」を申請(○)する場合は「二級・木造」も申請(○)してください。

学校課程情報欄

入力欄

学校設置者(例 〇〇県、〇〇市、学校法人〇〇学園)	東京都
学校教育法等による学校の区分(プルダウンから選択してください)	1. 大学
申請する課程	〇〇〇〇学校
学校名のふりがな	〇〇〇〇〇〇〇がっこう
学部名(又は課程名)	工学部
学科名(又は科名)	建築学科
コース(又は専攻等名)	
国公立の区分(プルダウンから選択してください)	5. 私立
対象となる最初の入学生(プルダウンから選択)	2023年度(令和5年度) 4月入学
対象となる最初の卒業生(プルダウンから選択)	2026年度(令和8年度)
入学資格(例 中学校卒業等・高等学校卒業等)	高等学校卒業等
昼間・夜間の区分(プルダウンから選択してください)	昼間
単位の考え方(単位制、時間制のどちらかを記入)	単位制
講義・演習 00分×00週	講義・演習1単位=60分(=1単位時間)×15週
実験・実習等 00分×00週	実験・実習・実技1単位=180分(=1単位時間)×15週
時間制 1単位時間当たり 000分	
修業年限(プルダウンから選択してください)	4 年
定員(申請の対象となる1学年当たりの人数)	40
学校所在地	郵便番号(例 000-0000) 102-0094
	所在地(都道府県) 東京都
	所在地(都道府県以後) 千代田区紀尾井
連絡先	連絡先郵便番号(例 000-0000) 102-0094
	連絡先(都道府県) 東京都
	連絡先住所(都道府県以後) 千代田区紀尾井町0-0
	担当者名 建築 次郎
	担当者名のふりがな けんちく じろう
	担当者役職名 准教授
	電話番号(例 000-0000-0000) 00-0000-0000
	FAX番号(例 000-0000-0000) 11-0000-0000
	Eメールアドレス(例 abcd@jaeic.or.jp) abc@eee.co.jp
証明書関係	証明書発行部署名 教務課
	証明書発行者役職名 証明書発行担当
	担当者名 建築 三郎
	担当者名のふりがな けんちく さぶろう
	電話番号(例 000-0000-0000) 00-0000-1234
	Eメールアドレス(例 abcd@jaeic.or.jp) abc-kyomu@eee.co.jp

学校名・課程名

〇〇〇〇学校 工学部 建築学科

添付資料

○

建築士試験 指定科目の確認申請書(新規申請)

○

建築士試験 指定科目の確認申請書 別表

○

上記 申請書のエクセルファイル

○

開講科目のシラバス(講義実施要領)

○

学年別授業科目一覧

○

根拠法令に基づく学校設置の許可証等の写し

○

法人としての寄附行為

○

学則等

—

学校、学部規程等

その他の添付資料

備考

(第一面に記入できなかった事項、補足説明など)

「根拠法令に基づく学校設置の許可証等の写し」については
認可が下り次第、メールにて改めて送付する。
代わりに申請届の控えを添付する。

連絡事項等ございましたら適宜記入してください。

指定科目の確認申請書 別表【単位制の場合】

記入例:赤字が入力箇所です。

申請する建築士試験

一級建築士試験

○

二級・木造建築士試験

○

「職業訓練校」は使用する様式が異なります。

学校名・課程名

〇〇〇〇学校 工学部 建築学科

対象となる者の入学年

令和〇年

一級を申請する場合は二級・木造も申請してください。

指定科目の分類 (単位数)		指定科目として申請する開講科目					※指定科目該当有無の確認 (○は該当、×は該当しない)	
二級・木造	一級	分類 番号	科目名	履修学年	必修・選択	単位数	該当有無	備 考
①建築設計 製図 (3単位以上)	①建築設計 製図 (7単位以上)	①	設計製図Ⅰ(戸建住宅・集合住宅)	1	必修	1		
		①	設計製図Ⅱ(公共建築物)	2	必修	2		
		①	設計製図Ⅲ(美術館、病院)	3	選択	2		
		①	CAD演習Ⅰ(併用住宅)	2	必修	2		
		①	CAD演習Ⅱ(オフィスビル)	3	選択	2		
		①	CAD演習Ⅲ(大規模複合施設)	3	選択	2		
		①						
		①						
		①						
履修する学年が定まっていない場合は「無」にしてください。 (その他該当するものをプルダウンで選択してください。)								
「選択必修」の場合は、「選択」にしてください。								
建築計画、 建築環境工 学又は建築 設備 (2単位以上)	(7単位以上)	②	建築計画Ⅰ(集合住宅、公共施設)	1	必修	2		
		②	建築計画Ⅱ(集合住宅、公共施設)	2	必修	2		
		②	日本建築史	3	必修	1		
		②	西洋建築史	3	選択	2		
		②	建築意匠論	4	選択	2		
		②						
「別表」に入力する「科目名」「履修学年」「必修・選択」「時間数」と添付する「開講科目のシラバス (講義実施要領)」、「学年別授業科目一覧」は一致するように確認してください。								
単位数小計		②						
9		②						
③建築環境 工学 (2単位以上)		③	室内環境工学(温度、湿度)	2	必修	2		
		③	建築環境工学(騒音、明るさ)	3	選択	2		
		③	音環境設計	4	選択	2		
		③						
		③						
		③						
単位数小計		③						
6		③						
④建築設備 (2単位以上)		④	空調設備	2	必修	2		
		④	給排水設備	2	選択	2		
		④	電気設備	3	選択	2		
		④	建築設備製図	3	選択	2		
		④						
		④						
単位数小計		④						
23		④						
単位数小計		④						
8		④						

履修する学年が定まっていない場合は「無」にしてください。
(その他該当するものをプルダウンで選択してください。)

「選択必修」の場合は、「選択」にしてください。

「別表」に入力する「科目名」「履修学年」「必修・選択」「時間数」と添付する「開講科目のシラバス
(講義実施要領)」、「学年別授業科目一覧」は一致するよう確認してください。

指定科目の分類 (単位数)		指定科目として申請する開講科目				※指定科目該当有無の確認 (○は該当、×は該当しない)	
二級・木造	一級	分類 番号	科目名	履修学年	必修・選択	単位数	備考
⑤～⑦ 構造力学、 建築一般構 造又は建築 材料 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	⑤	基礎力学	1	必修	2	
		⑤	建築構造力学Ⅰ	2	必修	2	
		⑤	建築構造力学Ⅱ	3	選択	2	
		⑤	建築振動論	4	選択	2	
		⑤	不静定構造演習	4	必修	2	
		⑤					
	単位数小計	⑤					
	10	⑤					
	⑥建築一般 構造 (3単位以上)	⑥	建築構造基礎	2	選択	1	
		⑥	建築構造計画	2	選択	1	
		⑥	鉄筋コンクリート造構造	2	必修	2	
		⑥	鋼構造	3	選択	2	
		⑥	特殊構造論	3	選択	2	
		⑥					
	単位数小計	⑥					
	8	⑥					
	⑦建築材料 (2単位以上)	⑦	木質材料	4	選択	1	
		⑦	コンクリート材料	4	選択	1	
		⑦	建築材料一般	4	選択	2	
		⑦					
	単位数小計	⑦					
	22	⑦					
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	⑧	建築施工法	3	選択	2	
		⑧	建築積算	4	選択	1	
		⑧					
		⑧					
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	⑨	建築基準法及び関係法令	2	選択	1	
		⑨					
		⑨					
		⑨					
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	⑩	基礎製図(図学)	1	必修	2	
		⑩	測量Ⅰ	1	必修	1	
		⑩	測量Ⅱ	2	選択	2	
		⑩	地球環境と環境保全	3	選択	1	
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	⑩	防災計画	3	選択	2	
		⑩	廃棄物の処理	4	選択	2	
		⑩	建築経済論	4	選択	2	
		⑩					
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	⑩					
		⑩					
		⑩					
		⑩					
12	12	①～⑨の単位数合計					
60	60	①～⑨の単位数合計					
72	72	総単位数(①～⑩の単位数合計)					

総単位数によって、試験時・登録時の必要な実務経験年数に関する要件が異なります。

この
につ

記入例:赤字が記入箇所です。

受付整理番号

記入しないでください

建築士試験 指定科目の確認申請書(変更申請)

確認審査を受けた指定科目等について、所定の変更がありましたので、下記のとおり、変更申請します。
この変更申請書及び添付資料に記載の事項については、最新かつ正確なものです。
また、委員会審査結果(事前通知)に基づき、登録用の全ての指定科目シラバスをPDF提出するとともに、
確認審査結果(正式通知)に基づき、適正に「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を発行することを
誓約します。

公印は省略してかまいません。

公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長 殿

申請年月日 令和〇年〇月〇日
申請者役職名 〇〇〇〇学校 学校長
申請者名 〇〇〇〇

1. 変更区分 (以下のうち、変更区分に ○ をつけてください。)

変更区分1	指定科目の変更(申請した科目の変更、申請した科目の削除又は科目の追加申請。)	○
変更区分2	課程情報の変更(申請した課程情報のうち、学校設置者、定員、所在地又は担当者の変更に限る。)	
変更区分3	その他の変更(申請した際の添付書類(学則、学校、学部規程等)の変更等。)	

2. 課程情報の変更

(1) 変更不可情報

登録情報

以下、二重線部分が変更の場合は、新規申請を行ってください。

学校教育法等による学校の区分		0.●●	
学校課程コード		0000-000-000	
新規申請日		20●●/●/●	
認定通知日(確認日)		20●●/●/●	
申請課程	学校名	●●●●●●学校	
	がっこうめい	●●●●●●●●がっこう	
	学部名(又は課程名)	1単位あたりの授業時間の変更が単位数の増減に係らない場合は、 メール連絡のみで修正可能です。	
	学科名(又は科名)		
	コース(又は専攻等名)		
	入学資格		高卒以上
	昼間・夜間の区分		昼間
	単位制	講義・演習 実験・実習等	講義・演習1単位＝60分(1単位時間)×15週 実験・実習・実技1単位＝180分(1単位時間)×15週
時間制	1単位時間		
修業年限		● 年	
申請区分	一級建築士		
	二級建築士・木造建築士	○	

1単位あたりの授業時間の変更が単位数の増減に係らない場合は、メール連絡のみで修正可能です。

(2) 変更可能情報①

登録情報

変更欄(変更なしの場合は「変更なし」と記入してください)

学校設置者	●●●●●法人 ●●●●●学校	変更なし
申請課程の定員	30	50
学校所在地	郵便番号	102-0094
	所在地都道府県	東京都
	所在地(都道府県以降)	千代田区紀尾井町
担当者 ／連絡先等	連絡先郵便番号	102-0094
	連絡先都道府県	東京都
	連絡先住所(都道府県以降)	千代田区紀尾井町
	担当者名	●● ●●
	たんとうしゃめい	●●●● ●●●●
	担当者役職名	教諭
	電話番号	03-6261-3310
	Eメールアドレス	shiteikamoku@jaeic.or.jp

学校名・課程名 ●●●●●学校 ●学部 ●●学科

(3)変更可能情報②

登録情報

変更欄(変更なしの場合は「変更なし」と記入してください)

「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」の発行関係	証明書発行部署名	教務課	変更なし
	証明書発行担当者役職名	係長	変更なし
	証明書発行担当者名	● ● ●	変更なし
	たんとうしゃめい	● ● ● ● ●	変更なし
	電話番号	03-6261-3310	変更なし
	Eメールアドレス	shiteikamoku@jaeic.or.jp	変更なし

3. 添付資料等

変更区分1 変更区分2 変更区分3

添付資料	指定科目の確認申請書(変更申請)	必要	必要	必要
	指定科目の確認申請書 新旧対照表	必要		
	上記 申請書のエクセルファイル	必要	必要	必要
	変更後の開講科目のシラバス(講義実施要領)	必要		
	変更後の学年別授業科目一覧	必要		
	上記以外で変更を証明する書類等	適宜	適宜	適宜
	上記以外で変更を証明する書類等の説明			
科目の変更が適用となる対象入学年	(新旧対照表に記入した入学年度) ・2023年度入学 ・2026年度入学 ↑ 参考: 2024、2025年度入学の指定科目が2023年度入学の指定科目と同じ場合は、記入不要です。			
備考 (第一面に記入できなかった事項、補足説明など)				

指定科目の確認申請書 新旧対照表【単位制の場合】

変更申請年月日

令和〇年〇月〇日

学校名・課程名

建築教育学校 建築課程 建築科

記入例：赤字が記入箇所です。

対象となる者の入学年

令和〇年

*

継続：前回申請と同じもの
変更：科目名、授業内容、履修学年又は必修選択を変更削除：科目を削除
追加：科目の追加申請

指定科目の分類		現在の指定科目					変更等（「削除」の場合、「科目名」以降は記入しないでください）					※指定科目該当有無の確認	
二級・木造	一般	科目名	履修学年	必・選	単位数		*	科目名	履修学年	必・選	単位数	該当有無	備考
①建築設計 製図 実務0～2年 (5単位以上) 実務3～5年 (3単位以上)	①建築設計 製図 (7単位以上)	設計製図Ⅰ（戸建住宅）	1	選択	1	⇒	変更	① 設計製図Ⅰ（戸建住宅）	2	選択	1		
		設計製図Ⅱ（集合住宅）	2	必修	2	⇒	継続	① 設計製図Ⅱ（集合住宅）	2	必修	2		
		設計製図Ⅲ（小規模公共建築物）	3	選択	2	⇒	削除	①					
		CAD演習Ⅰ（オフィスビル）	2	必修	2	⇒	変更	① CAD演習Ⅰ（小規模施設）	2	必修	2		
		CAD演習Ⅱ（複合施設）	3	選択	2	⇒	変更	① CAD演習Ⅱ（大規模複合施設）	3	選択	2		
		CAD演習Ⅲ（大規模建築物）	3	選択	2	⇒	削除	①					
						⇒	追加	① 設計製図CAD応用	3	選択	2		
						⇒		①					
		単位数小計				⇒							
		9				⇒							
②～④ 建築計画、 建築環境工 学又は建築 設備 実務0～2年 (7単位以上) 実務3～5年 (2単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	住居計画Ⅰ（戸建住宅）	1	必修									
		住居計画Ⅱ（集合住宅、複合施設）	2	必修									
		日本建築史	3	必修									
		西洋建築史	3	選択	2	⇒	削除	②					
		近代建築史	3	選択	2	⇒	変更	② 近代建築史	3	選択	2		
		建築意匠論	4	選択	2	⇒	変更	② 建築意匠論	4	選択	2		
						⇒	追加	② 建築史	3	選択	2		
						⇒		②					
						⇒		②					
		単位数小計				⇒		②					
		10				⇒		②					
	③建築環境 工学 (2単位以上)	室内環境工学（温度、湿度）	2	必修	2	⇒	変更	③ 室内環境工学（温度、湿度）	2	選択	2		
		建築環境工学（騒音、明るさ）	3	選択	2	⇒	削除	③					
		音環境設計	4	選択	2	⇒	継続	③ 音環境設計	4	選択	2		
						⇒	追加	③ 室内環境工学応用	4	選択	2		
		単位数小計				⇒		③					
		6				⇒		③					
	④建築設備 (2単位以上)	空調設備	2	必修	2	⇒	削除	④					
		給排水設備	2	選択	2	⇒	変更	④ 給排水設備	2	選択	2		
		電気設備	3	選択	2	⇒	変更	④ 電気・空調設備	3	選択	3		
		建築設備計画	3	選択	2	⇒	継続	④ 建築設備計画	3	選択	2		
		単位数小計				⇒		④					
		23				⇒		④					
⑤～⑦ 構造力学、 建築一般構 造又は建築 材料 実務0～2年 (6単位以上) 実務3～5年 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	基礎力学	1	必修	2	⇒	継続	⑤ 基礎力学	1	必修	2		
		建築構造力学Ⅰ	2	必修	2	⇒	変更	⑤ 建築構造力学Ⅰ	3	選択	2		
		建築構造力学Ⅱ	3	選択	2	⇒	変更	⑤ 建築構造力学Ⅱ	3	選択	2		
		建築振動論	4	選択	2	⇒	継続	⑤ 建築振動論	4	選択	2		
		建築構造解析	4	選択	2	⇒	継続	⑤ 建築構造解析	4	選択	2		
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
		単位数小計				⇒		⑤					
		8				⇒		⑤					
	⑥建築一般 構造 (3単位以上)	建築構造基礎	2	選択	1	⇒	継続	⑥ 建築構造基礎	2	選択	1		
		建築構造計画	2	選択	1	⇒	変更	⑥ 建築構造計画	2	選択	1		
		鉄筋コンクリート造構造	2	必修	2	⇒	変更	⑥ 鉄筋コンクリート造構造	2	必修	2		
		鋼構造	3	選択	2	⇒	継続	⑥ 鋼構造	3	選択	2		
		特殊構造論	3	選択	2	⇒	削除	⑥					
		単位数小計				⇒		⑥					
		6				⇒		⑥					
	⑦建築材料 (2単位以上)	木質材料	4	選択	1	⇒	継続	⑦ 木質材料	4	選択	1		
		コンクリート材料	4	選択	2	⇒	変更	⑦ コンクリート材料	3	選択	2		
		建築材料一般	4	選択	3	⇒	削除	⑦					
						⇒	追加	⑦ 建築材料実験	4	選択	2		
		単位数小計				⇒		⑦					
		19				⇒		⑦					
	⑧建築生産 (1単位以上)	建築生産Ⅰ	3	選択	3	⇒	継続	⑧ 建築生産Ⅰ	3	選択	3		
		建築生産Ⅱ	4	選択	1	⇒	削除	⑧					
						⇒	追加	⑧ 建築施工法	4	選択	1		
		単位数小計				⇒		⑧					
		4				⇒		⑧					
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	建築基準法及び関係法令	2	選択	1	⇒	変更	⑨ 建築基準法及び関係法令Ⅰ	2	必修	1		
						⇒	追加	⑨ 建築基準法及び関係法令Ⅱ	4	選択	1		
						⇒		⑨					
		単位数小計				⇒		⑨					
		2				⇒		⑨					

【注意事項】
空欄となっていないか確認ください。

記入例：赤字が記入箇所です。

受付整理番号

記入しないでください

建築士試験 指定科目の確認申請(課程の募集停止届)

20XX/XX/XX 付け文書により、指定科目の確認がされた下記1の課程について、下記2のとおり募集停止しますので届出いたします。
この届に記載の事項については、最新かつ正確なものです。

公印は省略してかまいません。

公印は省略しても構いません。

公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長 殿

届出年月日
届出者役職名
届出者名

令和〇年〇月〇日

〇 × 〇 × 学 校 学 長
山 田 一 郎

記

1. 募集停止する課程

学校教育法等による学校の区分		1.大学	
学校課程コード		9999-999-999	
更新申請日		20XX/XX/XX	
認定通知日(確認日)		20XX/XX/XX	
募集停止する課程	学校名	建築教育大学	
	がっこうめい	けんちくきょうくだいがく	
	学部名(又は課程名)	工学部	
	学科名(又は科名)	建築学科	
	コース(又は専攻等名)		
	対象となる最初の入学生	平成XX年	
	入学資格	高等学校卒業	
	昼間・夜間の区分	昼間	
	修業年限	4 年	

2. 募集停止に伴う届出事項

記入欄

募集停止の理由		学校統合による募集停止(建築総合大学として統合されます)	
募集停止となる年月日		令和〇年3月31日	「令和8年度卒業生」までの場合「令和5年度入学生」に適用となるため、「募集停止となる年月日」は「令和6(2024)年3月31日」と記入ください。「募集停止する課程の最後の入学年月」は「令和5年4月」を選択ください。「募集停止する課程の最後の卒業年月」は「令和9年3月」を選択ください。
募集停止する課程の最後の入学年月		令和〇年4月	
募集停止する課程の最後の卒業年月		令和〇年3月	
指定科目に係る修得単位証明書等の発行の事務引継ぎ先	名称	建築総合大学	
	郵便番号	120-0046	
	都道府県	東京都	
	住所(都道府県以降)	千代田区紀尾井町	
	電話番号	03-6261-3310	
	FAX番号	03-6261-3322	
	担当者名	山田 太郎	
	たんとしやめい	やまだ たろう	
	担当者役職名	准教授	
Eメールアドレス		abc@jaeic.or.jp	
本届に係る連絡先(担当者等)		学校新設担当課長 川田 次郎(電話03-5524-3105)	
その他、センターへの連絡事項等		新設学校の開校までは、川田次郎が担当となります。在学生は、旧学校名・課程名のまま卒業します。	